

ご意見に対する修正内容一覧

No	項目	ご意見	修正版の該当ページ	修正内容
1	文章のわかりやすさ	市民の方にご覧いただくことを意識する場合、用語集の作成や、わかりやすい概要版の作成など、工夫が必要ではないかと感じました。 文章がだらだら書かれていて、もう少し段落とか、見易くできないのかと思います。	全般	文章構成を全編を通じて修正しました。 巻末に用語集を作成しました。 公表の際には、概要版（A3）を作成します。
2	グラフの見やすさ	（53ページ）図5.8減価償却費と長期前受金戻入の将来推計（農業集落排水）は、新規分が見えなくなっています。 （55ページ）3条と比べて4条の金額が少ないため、棒グラフからその差が読み取りにくい印象を受けました。 視認性を高めるために、作図方法に工夫があるとより分かりやすくなるのではないかと感じました。	全般	縦軸のレンジを修正し、変化が見やすいように調整しました。
3	区域図の見やすさ	下水道に関する専門的な図面であることを踏まえると、道路や鉄道の路線、公共施設などのランドマークが分かるように工夫されていると、市民や関係者にとって理解しやすくなると感じました。	5	農業集落排水について、地区ごとに色分けし、位置が把握しやすいように修正しました。 下水道主要施設及び市役所、鉄道、国道を追加しました。
4	収益的収入・支出	収益的収入・収益的支出といった、かなり細かい内容から説明が始まっている印象を受けました。 収益的収支と資本的収支の関係性をイメージ図で示すなど、視覚的に理解を促す工夫があると良いと感じました。	8	収益的収支と資本的収支の関係図（イメージ）を追加しました。
5	経費回収率(%) 汚水処理原価(円/m3)	農業集落排水の評価について「優位」とされていますが、これは類似団体や全国平均との比較において相対的に良い水準であるという意味にとどまるのではないかと感じました。 実際には経費回収率が100%を下回っており、汚水処理原価も高い状況にあるため、誤解を招かないような表現の工夫が必要ではないかと思っています。	13～15	13～15ページは、他団体との相対評価である旨を文章に追記するとともに、評価のタイトルを「相対評価」に変更しました。 また本市の状況についての評価は、16～37ページの各項目の詳細ページに追記しました。
6	管渠老朽化率(%) 管渠改善率(%)	老朽化率および改善率が0.00%となっているのは、耐用年数を迎えている管渠が現時点で存在しないためと理解しています。 このため、現状の数値だけを見ると誤解を招く可能性があるため、表現の工夫が必要ではないかと感じました。	15	管渠老朽化率が0.00%である理由は、現時点で本市には耐用年数を超過する管渠が無いためであることを明記しました。 また、管渠改善率は、ストックマネジメント計画に準じて修繕を行っていますが、改善を要する管渠延長が短いために0.00%になっていることを明記しました。
7	下水道人口普及率	下水道人口普及率のみで比較するのではなく、農業集落排水や合併処理浄化槽を含めた汚水処理人口普及率も併せて示すことで、地域全体の汚水処理の実態がより正確に把握できるのではないかと感じました。	39	浄化槽区域を含めた、本市全体の汚水処理人口普及率を掲載しました。
8	有収率	不明水対策の取組状況について、どのようになっているか気になりました。 必要に応じて、概要の中で触れていただけると、理解が深まるように思います。	40	管路施設の不明水の対策として、管渠の点検・調査を行い、必要に応じて管渠の改築及び不具合箇所への修繕を行っていることを明記しました。
9	「検討」という表現について	経営の基本方針の短期目標、また、経費回収率向上に向けたロードマップの取り組みにおいて「検討」という言葉が多く見受けられるが、本計画は、次期計画における具体的な実施方針を決めるための検討期間なのではないでしょうか。そうではなく、本計画期間中において実施に移す項目があるのであれば「検討します」の後に、少し言葉を添えた方が分かりやすいのではないのでしょうか。	47、61	ウォーターPPPの導入や汚泥処理方法の検討につきましては、令和8年度から検討を開始し、優位性が認められる場合、計画期間中に取り組むことを明記します。
10	使用料収入の確保	「未接続家屋への水洗化普及活動」とありますが、具体的にどのような取組をされているのか分かりますと、より理解が深まるように思いました。	47、52、61	未接続家屋への個別訪問や文書による啓発活動を行っており、今後も同様の取り組みを計画的に行っていくことを明記しました。
11	経費回収率向上に向けたロードマップ	市民の方にご覧いただくことを意識する場合、用語集の作成や、わかりやすい概要版の作成など、工夫が必要ではないかと感じました。 文章がだらだら書かれていて、もう少し段落とか、見易くできないのかと思います。	60～61	経費回収率向上に向けた、現在から将来にわたる取組みを明記しました。 また、使用料の改定については、それらの取組みの効果を見極めながら、随時検討することを明記しました。 図6.1には、経費回収率の減少原因を視覚的に分かりやすくするため、汚水処理費のグラフを追加しました。 表6.1には、より具体的な経費回収率向上に向けた取組みを明記しました。 また経費回収率の目標値を100%と明記しました。
12	基準外繰入額	基準外繰入の金額が大きくなっていますが、市の財政部局との調整や、理解は得られているのでしょうか。	63～68	「投資・財政収支の見通し」では、一般会計からの基準外繰入金を見込まずに、経常損益を赤字のままで作成するように修正しました。